



ご卒業おめでとうございます！ 3/2(月)に卒業式が行われました。



ほどよい緊張感のある雰囲気の中で、32人の卒業生を送りました。それぞれの表情を確認しながら卒業証書を授与。みんないい顔をしていました！

在校生を代表して送辞を述べたのは、東善久さん(生冠中出身)。心温まるはなむけの言葉とともに、先輩が守ってきた伝統と新たに築いた型を受け継いでいくとの決意表明がありました。対して、答辞を述べたのは、卒業生代表の加藤駿忠さん(串木野中出身)。ブレザータイプの新制服に初めて袖を通した時の期待と不安の回想から始まり、これまでの高校生活を振り返りました。様々な経験が今につながっているとの思いから「一日一日を大切にしてほしい」とのメッセージを、在校生に贈ってくれました。

私からも式辞の中でいろいろ述べましたが、最も伝えたかったことは「今を生きる」ことを大切に、様々な経験の積み重ねを通して「自分らしさ」を磨いてほしいということです。「なんのために生まれてなにをして生きるのか／答えられないままなんてそんなのはいやだ／今を生きることで熱いところ燃える／だから君は行くんだほほえんで」(「アンパンマンのマーチ」より)。また、時として弱い自分であっても、それを自分自身が認めることができる、それも「自己肯定感」なのです。苦しい時こそ、微笑みを忘れないでほしいです。

当日はあいにくの空模様でしたが、鹿児島には「島津雨」という言葉があります。島津家初代のお殿様の忠久公が生まれた日が大雨だったことから、雨はめでたいことのしるしであると言われていました。こういう発想の転換が大事です。ポジティブ思考を忘れずに、それぞれ次のステージに向かってほしいと思います！

**3/4(水)・5(木)高校入試 1・2年生は自宅学習期間です。**

今週は卒業式あり、入試あり……公立高校にとっては、1年間の中で最も緊張感のある週。ところで、お子さんたちはどんな感じで生活しているのでしょうか。今、やっておくべきことは何？ 生活リズムが崩れるなどもってのほかなのです。上級生としての「自覚」と「誇り」を！

**インスタ、FBもご覧ください。串木野高校頑張っています！ (文責 立森)**

